

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月04日

計画の名称	富田林市における下水処理対策の推進（その3）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	富田林市												
計画の目標	下水道の整備を行い、快適な暮らしを実現し、都市化による石川の水質汚濁を改善する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,066	A	1,037	B	0	C	29	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	2.72	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R4	R6
1	下水道処理人口普及率を91.4%（R2当初）から95%（R6末）に増加させる。 下水道処理人口普及率（下水道整備区域人口 / 行政人口）を算定する。 (R2当初)100,760 ÷ 110,280=91.4% (R4末)100,246 ÷ 107,792=93.0% (R6末)99,670 ÷ 104,916=95.0%	91%	93%	95%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富田林市	直接	富田林市	管渠(汚水)	新設	大井処理区 汚水管の整備	200 L=12.5km	富田林市						1,007	-	
	A07-002	下水道	一般	富田林市	直接	富田林市	管渠(汚水)	新設	狭山処理区 汚水管の整備	200 L=0.4km	富田林市						30	-	
												小計					1,037		
												合計					1,037		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	C07-001	下水道	一般	富田林市	間接	個人	管渠（ 汚水）	新設	大井処理区 水洗化促進 対策実施	水洗化改造補助	富田林市						26	-		
		基幹事業(A07-001)である汚水管の整備と一体的に行うことにより、公共下水道未接続家屋の普及促進を図る。																		
	C07-002	下水道	一般	富田林市	間接	個人	管渠（ 汚水）	新設	狭山処理区 水洗化促進 対策実施	水洗化改造補助	富田林市						3	-		
		基幹事業(A07-002)である汚水管の整備と一体的に行うことにより、公共下水道未接続家屋の普及促進を図る。																		
												小計						29		
											合計						29			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富田林市上下水道事業運営協議会において、当計画の事業実施状況の報告確認を実施。	令和7年度に実施
	公表の方法
	市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率について、R2年度当初91.4%からR6年度末94.2%と2.8%ポイントの増加となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	富田林市内を流れる石川・千早川・佐備川において、水質指標であるBOD負荷量の計測値が全ての箇所において基準値を達成している。
特記事項（今後の方針等）	
今後も更なる整備コストの軽減を図るため、前例にとらわれない、経済的な工法の採用や、集落から離れた家屋の処理手法を見直すなど、下水道整備の概成を目指します。	

